



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

予選レポート

2020/8/30

Rd-1 ツインリンクもてぎ

天候：晴れ

気温：36°C

出走台数：19台

COVID-19 新型コロナウイルス感染対策として、2020シーズンのスーパーフォーミュラは、予選と決勝を同日に開催するワンデー開催となった。

2 グループ制が導入されたノックアウト第1予選。

A組の山本選手はシグナルグリーンと同時にコースイン。ブレーキや車のウォームアップと確認を行うと、すぐにピットインし新品タイヤを装着してタイミングを待つ。残り3分でコースインした山本選手は、他の車両とは異なり計測1周目のタイムアタック。最終セクターでトラフィックに引っかかる場面もあったが、1分31秒895を叩き出しトップに立つ。その後1台が上回り2番手で第2予選へ。

B組福住選手も、山本選手と同じ戦略。グリーンと同時にチェックランを行い、残り4分を切ってからコースイン。計測1周目アタックをし、1分31秒440でトップ通過した。迎えた第2予選。14台が7分のセッションでアタックを行うため、コースインのタイミングがカギとなる。第1予選同様、グリーンシグナルと同時にDOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台はチェックラップを行ない、新品タイヤに交換して残り3分を切ったところでコースイン。他車が2周目にアタックする中、1周目アタックを行つた。この戦略が裏目に出たか、トラフィックに追いついてしまった両ドライバーはペースを上げられず、福住選手9番手、山本選手は14番手と、共に第2予選で終えることとなってしまった。

5：山本選手 予選14位 (第1予選A組2位 第2予選14位) HONDA勢4位

第1予選では非常に感触良く、自信を持って第2予選に臨んだのですが、タイヤを十分にウォームアップできず、自分と車の本来の力を出せずに第2予選で終えることとなったのはとても残念です。結果的に、予選戦略に柔軟性をもって対応できれば結果はかなり違つたと思います。この点は課題ですね。基本的にピットインのない明日の決勝は、14番グリッドと厳しい位置からスタートしますが、チーム総合力で出来るだけ多くのポイントを獲得したいです。

6：福住選手 予選9位 (第1予選B組1位 第2予選9位) HONDA勢2位

走り始めから車の仕上がりは非常に良く、予選上位に自信もありました。タイヤの使い方に悩んでいた部分もあったのですが、1周目のアタックを選択して第1予選を首位でクリアできました。しかし第2予選ではクリアラップを見つけられず実力発揮できませんでした。今大会はスプリント勝負になります。まずはスタートを決め、35周をしっかりと戦つて上位フィニッシュを目指します。